

<卒業の認定>

1.卒業の要件

当校の各学科では求める教育目標、求める育成人材像に適合した科目を設定していますので、当該学科の一定の科目を履修し合格の評価を得た場合には、卒業を認めるに足る教育成果を得ていると考えます。具体的には、以下の要件となります。

(1)2年制課程の学科

総修得単位数

・本校では、専門学校における単位制への移行に伴い、2026年度入学生より卒業要件となる最低修得単位数が異なります。

対象者	卒業要件 (最低修得単位数)	備考
2025年度以前の入学生	85単位以上	従来の学年制(1700時間以上)に基づく計算
2026年度以降の入学生	62単位以上	改正後の単位制に基づく計算

学費等の納入

・2年間の授業料その他の納付金が完納されていること。

(2)1年制課程の学科

総修得単位数

対象者	卒業要件 (最低修得単位数)	備考
2026年度以降の入学生	31単位以上	改正後の単位制に基づく計算

学費等の納入

・1年間の授業料その他の納付金が完納されていること。

2.卒業の判定

卒業判定会議において判定し、卒業を決定します。

<進級の認定>

【2年次履修制限および進級基準について】

1年次終了時における進級基準(累積修得単位数等)は、各学科の教育課程および2年次における履修上限単位数を勘案し、学科ごとに個別に定めています。

この基準は、「2年次において開講される全科目を上限まで履修・修得した際、修業年限(2年)での卒業が物理的に可能となる最下限のライン」として設定されています。基準を満たさない場合は、2年次での卒業要件充足が不可能となるため、次年度の履修および年次進行に制限(1年次継続等)がかかります。

ディプロマポリシー(卒業の認定に関する方針)

東京ビジネス&キャリア専門学校では、社会に貢献できる実学を身につけた職業人を育成します。そのために、各業種・職種に就くために身につけなければならない基礎知識・技能と必要な資格を習得できるよう教育します。

また、インターンシップ(企業研修)やアルバイト経験など就労体験を通して、実社会の厳しさや問題解決能力、責任の自覚、コミュニケーション能力を学び、社会の一員としての責務を身につけた人材を社会に送り出します。

そのために卒業時点で身につけるべき以下の能力を定めます。

(1)専門的知識・技能の習得と活用力

学内の教育プログラムで「社会人基礎知識」・「専門的基礎知識」を身につけ、ビジネスの現場で総合的に活用することができる。また、基礎力から応用力を学び、職業人として必要な知識・技能を身につけている。

(2)実学・実践力の修得

企業研修や現場(実社会)等で必要とされる専門的知識・技術を身につけ、実践的な議題解決に取り組むことができる。

(3)コミュニケーション能力

他者や異文化に対する理解を深め、意見を傾聴することにより、多様な人たちとの相互理解を図るとともに、口頭及び文書で自らの意見を論理的に表現することができる。

(4)ICT活用による情報収集・分析力

ICTツール(動画教材、オンライン学習システム等)を効果的に活用し、必要な情報を自ら収集・分析し、学習や業務に役立てることができる。

(5)社会的責務と倫理

社会のルール(法令)や規範・学則を遵守し、自らの良心と良識に従って行動するとともに、職業人としての倫理観と責任感を持ち、社会貢献を意識して行動することができる。

(6)知識・技能・資格の取得

職種(職業人として)に応じ必要とされる知識・技能・国家資格等を取得し、その専門性を客観的に証明できる。

(7)生涯学習・キャリア開発力

学ぶべき内容・目標を自ら設定し、ICTを活用した継続的な学習を通じて、変化する社会やビジネス環境に対応し、主体的に自身のキャリア開発を続けることができる。